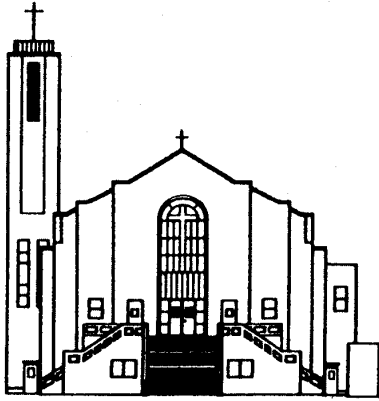




田園

十月号

(No.718. 2025.10.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

年の終わりに向かう霊的歩み

助任司祭 アントニオ金東炫神父



秋の訪れとともに、自然が静かにその彩りを変えてゆくこの季節、私たちは教会の守護聖人、アシジの聖フランシスコの記念日を迎えます。

今年は特に、彼が被造物を通して神への賛美をささげた「Canticum Fratrīs Solis (太陽の賛歌)」から八百年となる記念の年で、フランシスコ会にとって、また私たち共同体にとっても、深い意味を持つ特別な時です。

聖フランシスコは、すべての被造物を「兄弟」「姉妹」と呼び、神の創造の業に対する深い敬意と感謝をもって生きました。彼の祈りは、単なる言葉ではなく、存在そのものが神への賛美であり、隣人への愛の表れでした。

この記念の時に、私たちもその聖フランシスコの霊性に倣い、身の回りの小さな命や日々の恵みに目を向け、感謝の心を新たにしたいと願います。

十月はまた、ロザリオの月でもあります。

聖母マリアとともに主の生涯を黙想し、祈りのうちに平和と癒しを願いましょう。ロザリオの祈りは、私たちの心を静め、神との親しい交わりへと導いてくれます。とりわけ世界が不安と分断に揺れる今、ロザリオの祈りは希望の灯りとなることでしょう。

さらに、教会の伝統において十一月は「死者の月」と呼ばれ、亡くなった方々との霊的交わりを深めていきます。聖フランシスコが「姉妹である死」と称えたように、私たちも永遠の命への希望を新たにしたいと思えます。

このような意味で、この十月は年の終わりに向けて、信仰を見つめ直す大切な時期といえるでしょう。



十月、聖母マリアと聖フランシスコと共に捧げる祈りと黙想が、やがて来る主の降誕という喜びの時への準備となりますように私たちの信仰を深めるこの歩みを共に始めましょう。

神の祝福がすべての被造物に豊かにありますように。

合同堅信式

よく晴れた六月八日の午後、東京カテドラル聖マリア大聖堂にて、菊地枢機卿主司式のもと教区合同堅信式が行われました。

田園調布教会からは八名の中学生が受堅致しました。当教会から二名が第一朗読、第二朗読を担当しました。

厳かな雰囲気の中行われた堅信式に、改めて身が引き締まる思いがしました。自身自身の信仰を改めて確認する機会となりました。

教会委員 M・Y



「感想文」

「より神様の子に近づけた」

ヨゼフ アウグステイヌス K・T

堅信を受けて、今までより一層神様に近づけたと思いました。なぜなら、勉強しているときも「堅信によって、より神様の子になれる」と教わったからです。神様のことはもともとよく知っていたし、自分も神様のように優しい人になりたいです。この堅信を通して、もっと教会の共同体に近づきたいです。

「堅信式を終えて」

クララ マリア T・S

六月八日に無事に堅信式を終えることが出来ました。四回にわたる竹内神父様の勉強会も堅信式を迎えるにあたってとても大切なものとなりました。私は幼児洗礼を受け、初聖体も終わり、今回もまた神様の信仰を深めるための堅信という大きな祝福を

受けることが出来ました。特に、今回はカテドラル教会での菊地枢機卿のミサにお友達と参列できたことは私の大きな喜びとなつております。

カテドラル教会は想像より祭壇が大きくとても素敵な教会だと感じました。そして、この度はこのような素敵なミサの朗読を私に御提案くださり本当にありがとうございました。またとない機会を頂きとても光栄でした。慣れない教会での朗読だったので、とても緊張しましたが事前に皆様が朗読の紙をくださったのでとても助かりました。怪しい部分も多々ありましたが、大きなミスをせず読み終えることが出来ました。

最後には仲の良いみんなで記念写真を撮り、このミサは心に残る幸せな思い出となりました。このミサをご準備してくださった方々、代母の方々に感謝申し上げます。



「堅信式を終え、今後の信仰に向けて」

テレジア M・N

勉強会を開いてくださった竹内神父様、大きな聖堂でミサを司式してくださった菊地枢機卿様、そして勉強会も当日も私たちを支えてくださった教会委員の方々、ありがとうございました。勉強会では七つの秘跡について教えていただきました。今回私たちが受けさせていただいた堅信の秘跡は

自分自身の中での信仰の決意をすることが重要だと学びました。

この勉強会の中で様々な秘跡やそのルールについて教えていただきました。これらの信仰に役立てていきたいです。堅信式の前に初めてゆるしの秘跡を受けさせていただきました。これからはもう少し定期的にゆるしの秘跡を受け、心を清めていただきたいと思います。

当日は緊張しましたが、菊地枢機卿様に堅信を授けていただき、嬉しかったです。これからも受堅した仲間と共に神様のお恵みをいただいていることに感謝し、歩んでいきたいと思います。私たちの受堅におきましてお祝いしてくださった皆様、ありがとうございました。

「堅信式を受けて学んだことと気持ち」

ヨハネ・フランシスコ M・K

僕は東京教区合同堅信式を受けて分かったことがあります。一つ目はそれを受ける
と信者では大人として扱われるようになる
ということ。なぜかという堅信式で
菊地枢機卿がこれであなともキリスト教上
は大人だと言っていたからです。これを受
けて自分も本当に大人の仲間入りを果たし
たのだなと思いました。



二つ目は洗礼だけでは完全に受洗したと
言い切れないということです。なぜなら、
洗礼は堅信式まで受けて初めて全て受けた
ことになるからです。僕はこの言葉に衝撃
を受けました。なぜなら自分はただ単に洗
礼を受けるだけでは受洗したと言えないか
らです。

自分は堅信式を受けるまで信者として大
人では無かったけど今は信者としても大人
なので、来年以降堅信を受ける人たちにそ
の良さを伝えていきたいなと思いました。



「聖霊と僕」 ベネディクト K・K

勉強会に行けなかった日もあったけど、
神父様が補習をしてくれてありがたかった
です。堅信式を受けて聖霊が自分の近くに
いるような感覚になりました。そのおかげ
か運がすごく良くなって、楽しく暮らして
います。



「信じること、つとめること」

マリア・エスペランサ F・Y

堅信の恵みを受け感謝しています。勉強
会のお話は難しかったですが、信者として
の意味を考える時間を持てました。また大
事な選択には心の準備が必要で、間違えた
時には神様や教会の導きを求めることも大
切だと学びました。

当日は枢機卿様や多くの神父様方がいらつしやり緊張しましたが、東京カテドラルはカトリックのガールスカウトが毎年集う教会なので温かい気持ちになりました。そして枢機卿様のお話は堅信の意味やスカウトの務めとも重なっていて私ははっとしました。

神に対するつとめを行い、社会への責任を果たすというスカウトのおきては、頂いた恵みを自分だけのものにするのではなく、他の誰かに神様の愛を伝えることだと思えます。

そのために神様の声をちゃんと聴ける心を持ち、毎日の中で神様の愛を感じ、身近な人に同じように心をつくすように頑張りたいです。ご準備くださった竹内神父様、教会の皆様、代母様や家族、本当に有難うございました。

初 聖 体 式

六月二十二日九時ミサにおいて竹内主任司祭の司式により、十二名の子ども達が初聖体を受けました。真っ青な青空のもとでの初聖体となりました。子ども達の晴れやかな姿は、皆様の心にも特別な思いを残したことと思います。



竹内神父様から頂いたお言葉『ご聖体を頂く事は、キリストになれる事』（キリストのように考え 典礼聖歌390）は、子ども達だけでなく、ご聖体をいただく私達皆へのお言葉だと感じました。

これからもご聖体の尊さを感じながら、考え、愛し、力の限り生きていきたいと思いました。

教会委員 N・M



「感想文」

アシジのフランシスコ I・M

初めてご聖体をいただいた時、リハーサルの時に食べたホスチアと味は変わらなかったけれど「これでぼくの体にイエスさまがいらつしやったんだな。」と、わくわく

してうれしい気持ちになりました。この気持ち忘れずにいたいです。

「イエスさまのからだ」

フランシスコ・アンブルジオ I・R

ぼくは、六月二十二日にはじめてごせいたいをいただきました。前の日にたべただのパンよりもイエスさまのからだはとくべつでした。みんなとやったおべんきようもおにごっこもゆるしのひせきもいいおもいになりました。またきょうかいにいきます。

「はく聖体」 Rosa S・K

はじめての聖体に心ぞうがドキドキバクバクになりました。聖体をいただいて食べた時の味は、正直、コンソメ味でした。家ぞくにそう言う、みんなわらいました。

しゅくが会でたくさんおかしをもらってまんぞくしました。今日、たくさんの方が

たから「おめでとう。」と言ってもらえて心がホクホクしました。

「初聖体をおえて」 クララ K・R

初聖体をおえて私は神様に一歩近づけることができたと思います。なぜなら、教会のこと、神様のことを学んで楽しくお勉強ができたからです。

神様は、世界中が平和になることをのぞんでいらつしやると思います。初聖体のお勉強をして、神様のことをお勉強した前よりもたくさん知れて、神様ののぞんでいた平和の意味も分かったので今では教会でぼきんをするようになりました。

また、エリツインや竹内神父さまに見まもってもらってお勉強ができたことにとてもかんしゃしています。本番では、きんちようしていてジェットコースターの一番上にいる、気持ちでした。けれど友だちとがんばってお勉強をしたことを思い出すと

ても気持ちがおさまってやることを上手にやりきることができました。これからも神様に近づけるようがんばります。



セシリア S・R

初聖体をうけることができて、うれしいです。ご聖体の味は、思っていたのとぜんぜんちがいました。パーティーで食べたおかしがおいしかったのも、うれしかったです。次はじしやができるように、がんばります。

ラファエラ・マリア F・R

いとこと初聖体を迎えられて嬉しかったです。祝賀会のようにたくさんの方にお祝いをいただいて、お勉強も頑張つてよかったと思いました。ありがとうございました。

「教会で学んだこと」 ヨセフ Y・Y

七回のお勉強会を通してたくさんのお話を学びました。御聖体を頂いてイエス様に近づけた気がしました。これからもごミサに与り御聖体を頂いてもっとイエス様に近づきたいです。

「神様からの愛の現われ」

マリア・ラファエラ K・R

神様からの愛の分かち合いの日、それが、六月二十二日。「初聖体式」でした。朝からわくわくとさん張感がまざり合い、教会に着いて白いドレスにきがえりハーサルをしている時は、むねがドキドキでした。

ついに始まった九時ミサ。奉納色紙を持つて歩き、共同祈願では自分で考えたお祈りを唱えました。そして祭壇の前に上がり御聖体を頂ける時がきました！習った通りに手を出し大きく「アーメン」と言いキム神父様から頂きました。頂いたしゅん間私は泣きそうになりました。なぜなら長く教会に通い、ご聖体拝領にあこがれていたからです。

私はこのしゅん間のうれしさと喜び、そして感動を忘れません。一生に一度の初聖体式は私の大切な思い出です。これからも神様からの愛を忘れずに生きていこうと思います。

「これからも」 フランシスコ H・K

ぼくは初聖体を受けることができたことに感謝しています。初聖体を受けるまでに、沢山の人に支えていただきました。だからぼくも、だれかを支える人になりたいです。

そのために、もっと神さまのことを学びたいです。一緒に初聖体を受けた十二人の友達とともに、これからもよろしくお願いします。初聖体ありがとうございます。



ローザ H・N

みなさまのおかげで、ぶ事に初聖体をむかえられたことを感じています。初聖体の勉強を通して、知らないことがたくさんあることに気づきました。たく山のことを教えてください、ありがとうございます。

初めてご聖体をいただいた時は、とてもうれしかったです。おいしいの会もひら

ていただき感しゃしています。これからも
よろしく願ひいたします。

「初聖体の記念日」フランスス S・R

はじめて初聖体をいただいた時、ぼくは、
おなかと心がまんぷくになった感じがしま
した。イエスさまの体は、まほうのパワー
をもっていると思いました。



サマーキャンプ

恒例の教会学校夏のキャンプが今年も行
われました。一、二年生は八月二日（土）
に「ワンデーフェスタ」として、教会の施
設を使って行われ、子供たちの楽しそうな
声が教会の中に響きわたりました。

今年は、教会学校以外のお友達もお誘い
して、合計十四名で作品制作、ゲーム、す
いか割りなどを行い、夕食を食べたあと花
火を行って、楽しい時間を過ごしました。



三年生～六年生は、長野県あずまや高原
の「山の家」で八月二十三日（土）～二十
五日（月）の二泊三日で行い、都会とは違
う涼しい大自然の中で思う存分走り回り、
とても素晴らしい時間を過ごすことが出来
ました。



今年は特に、全国的に報道されていた熊
の出没に気を使い、熊スプレー、大きな音
の出るホイッスルなどを準備し、皆で大き
な声を出しながら歩くように注意した結果、

幸いにして一度も遭遇せずに終わることが出来、ホッとしました。

教会の皆様から献品としてご寄付いただいた食品類、雑貨などを、今回の夏のキャンプで活用させていただいた結果、経費削減には大いに助かりました。皆様のご協力を感謝いたします。

また、ミサのために山の家を日帰りされた金神父様、終日同行していただいた修道院の神学生の方々、山の家の維持管理をしていただいている山の家管理グループの方など、多くの皆様のご協力に感謝する次第です。

神様をご準備してくれたこの素晴らしい機会をこれからも大事にして、子供たちが素晴らしい体験を通して、成長していくことをお祈りしています。

教会学校サポーター

図書室よりお知らせ

図書室は、第一、第二、第三日曜日九時から十三時まで開けております。

現在お手伝いしてくださる方を募集しております。受付か図書係までご連絡ください。

図書係 I・J

【新着図書のお知らせ】

◎ちいさなサンタさん 葉祥明

◎さむがりやのサンタ

レイモンド・グリックス

◎菊と十字架 ヨーゼフ・ピルマン

◎心の闇を乗り越えて 森一弘

◎今を生きる 森一弘

◎バテレンの世紀 渡辺京二

◎モンの民話 安中清子(注)

◎ラオス 山の村に図書館が出来た

安井清子

(注)安井清子さん

(ラオス山の子ども文庫基金代表)

ラオスの山の中の本のない村の子どもたちのために図書館を作り、六月の福祉バザーに出店、ラオスの細かくて美しい手芸品を出品してくださいました。



オルガン部会より お知らせ



「祈りとオルガン音楽のひととき」
～聖フランシスコに想いを寄せて～

聖書の御ことばとオルガン音楽に耳を傾けながら、黙想の時をもちましょう。

お 話 アントニオ金神父
オルガニスト 阿部 翠

◎日時 10月19日（日）

14時開演（13時45分開場

14時45分終了予定）

◎場所 カトリック田園調布教会大聖堂

入場無料（オルガン維持のため献金を
頂けたら幸いです）

俳句

渦をまく我が行く道の赤とんぼ

桃を売る話し上手に買ひ上手

老舗の菓子折り求む栗名月

マグダレナ・マリア・ソフィア O・H



昇りゆく朝霧山を動かしたつ

秋の野のすくとんと暮れてしまひけり

小鳥きて小さきときめき残しゆく

マリア セシリア I・K

いつしかに蟬去りてをり放禅鐘

蓬髪にサンダル清し小兄弟

峯雲や玻璃に掛けたる摩天楼

ヨゼフ K・A

応へなき永久の祈りや星月夜

風神の我を追ひ越す すすき原

エリザベート S・C

※今後の俳句の提出期限は

十二月十日（一月号）です。

提出先…受付脇「田園」引き出し

修道院だより2

「祈り・働け・隣人とともに」

アルデンヌの『ワーブルモン修道院』

舟橋 倫子

皆様、こんにちは。今回はアルデンヌ（ベルギー）の山の中にひっそりと佇む修道院にお連れ致します。

ワーブルモン修道院は、ベネディクト会が守ってきた文化を継承し、社会に還元する使命を果たす存在です。宗教的理念の下で共同生活を送る場が修道院ですが、その生活の仕方は大きく二つのタイプ（**観想型・実践型**）に分かれます。

観想型は静かな祈りの生活を基本とするのに対して、実践型は積極的に外部社会に出ていくという大きな違いがあります。前回ご紹介した『イエスの小さき兄弟会』は典型的な実践型です。今回取り上げるワーブルモン修道院は観想型で、世界各国から集まった二十名ほどの修道士たちが「祈り・

働け」で有名なベネディクト会則に従った伝統的な修道生活を守っています。

観想型の修道院は人里離れた静かな場所にあることが多いので、行くのはなかなか大変です。ブリュッセルから急行電車で二時間、そこから一日に数本のバスで一時間ほど丘を越え山を登ってやっとワーブルモンにたどり着けます。



伝統的修道院というと、扉を閉ざして中に閉じこもっているという印象が強いかもしれません。しかし、このワーブルモンの特徴は、自身の生活を守りながらも、外部と繋がって地域社会の軸になるという一見矛盾した二つの面がじつに見事に融合している点にあります。「祈り・働け・隣人とともに」といったところでしょうか。

彼らはベネディクト会則に従って一日七回の祈り（聖務日課）の生活を送りながら、修道院の中にあるペンキ工場での労働によって経済的自立を果たしています。そして、外部からリトリート希望者を受け入れて時間と空間を共有するという形で修道院の扉を開いているのです。

リトリートとは、日常から離れた環境に身を置き、自分と向き合いながら、心をやす過ごし方です。ワーブルモンでは、修道士たちの従う会則に沿った生活を体験することが出来ます。ベネディクト会則とは、日常生活のタイムスケジュールです。

聖堂での祈り、工場での労働、読書、食事、掃除、休息、といった活動を一時間半ごとに鳴る鐘の合図で切り替えていきます。ワールモンでは聖堂で共に祈り、修道士と同じテーブルについて朗読を聞きながら食事を取ることが出来るのです。基本は沈黙ですが会話の機会も設けられていて、毎食後の皿洗いの時にはゲストや修道士たちと自由に楽しく話をしながら作業を進めます。



私にとって何よりも印象的だったのは、**沈黙の暖かさ**でした。誰かと行き会った場合には、相手の目をみて無言でほほ笑んで会釈をします。すると、相手に受け入れられているという安心感につつまれます。沈黙がこれほど愛情に満ちているのだということを知ることが出来ました。

夕方のお茶の時間は、部屋の明かりを問わずに、丘を越えた山の上に光り輝く雲に目をやりながら、ゆっくりとひろがってくる夕闇を味わいます。部屋にいる五、六人がそれぞれカップを手にとり窓越しの空に視線を向けているのですが、何も語らないからこそ、同じ空間と光と時間を共に味わっている仲間であることが身にしてみえます。濃くなってゆく夕闇の中で、ただ、相手の存在だけを感じている濃厚な時間でした。

祈りの中で静かに繰り返される日常生活というぶれない芯があるからこそ、柔軟に人々に寄り添うことが出来る、その絶妙なバランス感覚に、千年以上受け継がれてき

たベネディクト会の伝統の強さと知恵を実感したのでした。

ワールモン修道院のホームページ：

<https://www.waivreumont.be/>



＜信徒連絡会＞ 2025年7月・9月

※文中敬称略

行事・予定

7月13日(日)	信徒連絡会
7月19日(土)	教会委員会研修会
9月 7日(日)	教会委員会
9月21日(日)	信徒連絡会 バザー第1回出店説明会
9月23日(火・祭)	助祭叙階式 (10:00)
10月 3日(金)	聖フランシスコ帰天祭 (トランジトゥス)
10月 5日(日)	聖フランシスコ祭 教会委員会
10月12日(日)	信徒連絡会 世田谷南宣教協力体合同堅信式 (上野毛教会) 14時
10月26日(日)	敬老の集い (9/14から後ろ倒し)
11月 2日(日)	教会委員会
11月 9日(日)	信徒連絡会
11月16日(日)	七五三ミサ
11月23日(日)	バザー

各会報告など

典礼委員会

7月

- 1) 6月22日の初聖体が皆さまのご協力が無事終了し、12人の子どもたちが初聖体を受けました。また同日の聖体賛美式、聖体行列も約60人ご参加いただき、ありがとうございました。
- 1) 6月の典礼委員会で「共同祈願作成グループ」の立ち上げを検討します。現在作成している典礼委員や教会委員、福音宣教委員以外の方にも共同祈願の作成に関わっていただいてはどうかという趣旨です。

9月

- 1) すでに教会のホームページにはお知らせが掲載されていますが、9月23日(火) 10:00から、ペトロ グエン・ヴァン・ロイさんの助祭叙階式が行われます。多くの皆さまのご参加をお願いします。

- 2) 今年2025年は聖年にあたることから、5月のマリア様の月にミサ前のロザリオの祈りを実施しましたが、フランシスコの月である10月にも実施します。スケジュールは以下の通りです。

10/12 8:20～(9時ミサ前)

10/19 8:20～(9時ミサ前)

10/26 10:20～(11時ミサ前)

財務財政委員会

7月

- 1) 6/29中間決算を行いました。なお、6月上旬に予算使用状況表を配布しましたので、ご活用ください。
- 2) 6/22に急遽、アクリルスタンドの配布を伴う特別な献金の募集を行いました。

9月

- 1) 7月に行った「100周年に向けたカトリック田園調布教会の為の特別な献金」について
 - アクリルスタンドを活用した献金<報告>
201個のアクリルスタンド全てが捌け、追加献金もいただきました。
ご協力ありがとうございました。

福音宣教委員会

7月

- 1) ふれあい福祉バザー：フランシスコ饅頭と有志の方が撮られた教会の写真つき絵葉書を提供しました。いただいた献金の一部を「能登半島地震および豪雨災害による被災者支援」として、フランシスコ会元田神父様を通じて、被災地に寄付しました。

7月・9月

- 1) フランシスコ祭作品展：今年も、フランシスコ祭10月5日(日)の前後2週間に作品展示を実施します。水彩画・俳句作成コーナーも実施したいと考えておりますので、皆さま奮ってご参加ください。
 - 展示期間(信徒会館1・2F) 9月28日(日)～10月11日(土)
 - 水彩画・俳句作成コーナー(ホールにて) 9月7日(日)
 - 作品受付(信徒会館) 9月14日(日)、21日(日) 9時、11時ミサ後

- 作品返却（信徒会館） 10月12日（日）、19日（日）9時、11時ミサ後

※フランシスコ祭当日（10／5）：フランシスコ饅頭販売を食堂にて行います。

福祉委員会

7月

- 1) 6月8日のふれあい福祉バザーにつき、事前準備、駐車場手配、お片付け、出店等々、種々ご協力いただきありがとうございました。出店は18グループでした。外部団体が8グループ出店したこと、またこれらの出店者の関係者が買い物をしてくださったこと等により増収となりました。出店グループからのアンケートとして、「昨年と比べて涼しかったのが助かった」「他団体と交流できたことが良かった」「来年も参加したい」「買い物も楽しめた」とのフィードバックをいただいています。最後に金神父様から「聖霊降臨の主日に相応しい交わりの時間だったのではないのでしょうか」とのお言葉をいただきました。来年度に向けては、今年度同様6月に開催できるよう検討します。
- 2) TAMAちゃんの活動ですが、足元の物価上昇の煽りをうけ、活動資金に不安を抱える状況に直面しつつあります。活動の広報を兼ね、ミサの後に案内チラシとともに、募金活動を行えればと考えています。

9月

- 1) 7月27日の野菜販売にご来場いただきました方々、また、お手伝いをいただきました皆さま、ありがとうございました。次回は9月28日を予定しています。
- 2) 復興支援関連で、ふれあい福祉バザーにもご参加いただいた「岩手犬プロジェクト」から、野菜販売の際に、出店スペースをもらえないかとの相談を頂いています。活動内容は、主に釜石地区の仮設住宅にお住まいの方々が作っている手作り品の販売となります。
- 3) 9月7日のミサにおいて、慈恵病院のこうのとり基金への募金活動を行いました。皆さまのご協力、ありがとうございました。

オルガン部会

7月・9月

- 1) 『祈りとオルガン音楽のひととき～フランシスコの平和の祈りに寄せて～』のチラシを信徒会館カウンターに置かせていただきました。他教会のお知り合いの方などにもお声掛け宜しくお願いします。

2025年10月19日(日) 14:00～40分程度になります。

バザー委員会

7月・9月

- 1) テーマ『輪を広げて、支えよう』

6月15日(日) 公示、ポスター掲載済み

7月20日(日)～9月7日(日) 出店申込み

9月21日(日) 第1回 出店説明会(12:15～)

10月19日(日) 第2回 出店説明会(12:15～)

11月22日(土) 前日準備

11月23日(日) バザー当日

環境部会

7月

- 1) 駐車場のミモザの枝の剪定

先月の柳の枝の剪定に続きまして、駐車場の入り口近くになるミモザの枝も伸びていましたので、剪定を行いました。花芽がついていましたので枝を多く残しました。状況を見て少しずつ進めていきます。

- 2) 中庭のクローバーの刈り取りと除草剤の散布

6月初めに中庭のクローバーの刈り取りと除草剤の散布を行いましたが、再びクローバーが伸びてきましたので、7月中に再度、芝刈りも含め、手入れを行います。

- 3) 水撒きのお願い

梅雨が明け夏になると日差しが強くなり花壇の土が乾きやすくなります。お気付きの方はお手数ですが水撒きをしていただくと助かります。中庭と信徒会館の横にホースを敷設していますのでご利用ください。使い方がわからないなど、ご質問がありましたら、環境部会のメンバーにお問い合わせください。

9月

1) 中庭の芝刈り

夏の間に芝が伸び、また雑草も増えてきましたので、9月中に芝刈りを行います。お手伝いいただける方がいましたら、環境部会の渡辺までお声がけください。

2) 法面の草刈り

教会周囲の法面の樹木の下草が伸びてきましたので、草刈りを検討しています。修道院に承認いただいた上で業者に依頼しますので、日程が決まりましたらお知らせします。

施設管理部会

7月・9月

1) 大聖堂のエアコン故障

北側のコンプレッサ2台を更新する必要があります、検討のうえ更新しました。

検討事項、経過事項など

1) 教区合同堅信式(6/8)

予定通り8名の方が受堅。第一・二朗読を当教会の受堅者が行いました。

「田園」10月号に感想文を掲載予定です。

2) 窓ふき、大掃除(6/15)

皆さまのご協力のもときれいになりました。ご協力ありがとうございました。

3) 初聖体(6/22)

12名の子供たちが、初聖体の秘跡を受けました。多くの各係、活動会、委員会に支えられて無事に終えられた事を心より感謝します。

4) 敬老会

暑さ対策の一環で開催は10/26(日)に延期して実施します。

対象者：当日77歳～(544名) 現在準備中です。楽しみにしてください。

- 5) 堅信式（世田谷南宣教協力体）
10月12日(日) 14:00 上野毛教会にて
主司式： アンドレア・レンボ補佐司教敬老会
- 6) 大聖堂もしくは信徒会館ワックスがけ
8/12(火)～14(木)のうち一日(9:00～17:00)に行います。
- 7) 東京歩く会（一般の会）の見学会
6月に3回にわけ訪問がありました（総勢46名）。教会、ミサ、パイプオルガンなどの質問などあり外部の方々への福音宣教の一環になったのではないかと思います。
- 8) 信徒会館停電のお知らせ
9月19日(金)全館停電 時間は不確定です。
- 9) 女子パウロ会の訪問販売（9/21）、ドンボスコ訪問販売（12/7）の予定です。
- 10) フランシスコ祭(10/5) 午後は、ラムズボイスコンサート、その後、豊田さん講演会などが行われます。



次号（田園1月号）は1月初旬にオフィシャルサイトに掲載予定です。

★ 田園」を紙面（印刷物）だけでご覧頂いている方へ ★
カトリック田園調布教会オフィシャルサイト <https://catholic-denenchofu.jp/>
のトップページ上部メニュー「今週のお知らせ／田園」
又は「今月の司祭の言葉／信徒連絡会・田園」などからご覧頂けます。

※トップページ右側下方「カテゴリー／田園」からもご覧いただけます。